

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 28 年 1 月 14 日 (2016.1.14)

【公開番号】特開 2013-139562 (P2013-139562A)
 【公開日】平成 25 年 7 月 18 日 (2013.7.18)
 【年通号数】公開・登録公報 2013-038
 【出願番号】特願 2012-275192 (P2012-275192)
 【国際特許分類】

C 1 0 G 11/18 (2006.01)

B 0 1 D 53/62 (2006.01)

B 0 1 D 53/14 (2006.01)

【 F I 】

C 1 0 G 11/18 Z A B

B 0 1 D 53/34 1 3 5 Z

B 0 1 D 53/14 1 0 2

【手続補正書】
 【提出日】平成 27 年 11 月 19 日 (2015.11.19)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 4
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 0 4 】

本発明は、アミン捕捉と称される、公知の捕捉技術を活用するが、方法の 2 つのコンプレッサのための駆動および強力なエネルギー回収の賢明な選択によって、一体型 F C C / アミン捕捉装置の方法からの H P (high pressure: 高圧) 蒸気および L P (low pressure: 低圧) 蒸気の観点から大幅に余剰であるユーティリティバランスを改善する解決策を提案する。従って、C O₂ 放出が非常に低い、さらにはマイナスである一体型 F C C / アミン捕捉装置の方法が得られる。これは、C O₂ クレジットを有する方法として知られている。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 1 7 】

本発明の接触分解 (F C C) 装置の再生帯域から出る煙霧によって放出された C O₂ の捕捉のための一体型方法は、以下の群から選択されるアミンを用いるアミン処理装置を用いる: M E A (モノエタノールアミン)、D E A (ジエタノールアミン)、D M E A (ジメチルエタノールアミン)、D I P A (ジイソプロピルアミン)、D G A (ジグリコールアミン)、ジアミン、ピペラジン、およびヒドロキシエチルピペラジン。好ましくは、アミンは、サブグループ: M E A (モノエタノールアミン)、D E A (ジエタノールアミン)、および D M E A (ジメチルエタノールアミン) から選択される。